

■藤原隆家 公卿。摂関家内の争いに敗れ、自ら望んで大宰府行き、戦功上げるも報われず、最後まで堂々と生きた。

ふじわらのたかいえ

・ ・ ・ ・ ・ 979＝ 高階成忠の娘高階貴子を母に、_藤原道隆の四男に生まれる。藤原伊周、定子の弟。

尾張百姓訴え 988＝ 9歳：

尾張国守罷免 989＝10歳：_元服し、従五位下、

藤原定子入内 990＝11歳：侍従となる。この年、父が一条天皇の関白に任じられ、すでに入内していた姉定子は中宮となる。

以後、右兵衛権佐、左少将、右中将、信濃・美作権守等を歴任し、

・ ・ ・ ・ ・ 994＝15歳：父が法興院で当時の一大イベントたる一切経奉納の法会を行った後、_非参議の従三位に叙せられ、

道長内覧宣旨 995＝16歳：_父が死去。権中納言をへて中納言に至ったが、

花山法皇事件 996＝17歳：_兄伊周と謀って従者に花山法皇を射させたことにより出雲権守に左遷流罪、藤原道長の権力が確立する。

・ ・ ・ ・ ・ 997＝18歳：東三条院御脳による大赦で帰京。密かに兼資の娘のもとに通いながら、遅れて帰京した兄とも再会、

・ ・ ・ ・ ・ 998＝19歳：兵部卿に任じられたが、

彰子入内・ ・ 999＝20歳：姉の中宮定子が敦康親王を出産して光明が見えたのもつかの間、

二后並立・ ・ 1000＝21歳：道長の娘彰子が中宮となって二后並立となった上、まもなく定子が死去し、

道長がなお氣を使うほどの人物ではあっても、

・ ・ ・ ・ ・ 1002＝23歳：_権中納言に復任したが、政治的に不遇で、

姉一条后定子の生んだ敦康親王の立太子を望んだが、天皇は道長を揮って許さず、

・ ・ ・ ・ ・ 1006＝27歳：

源氏物語始・ 1008＝29歳：中宮彰子が敦成親王を出産し、

・ ・ ・ ・ ・ 1009＝30歳：_ようやく中納言に完全復位するも、中宮彰子が続けて敦良親王を出産して、一族の希望が消滅、

・ ・ ・ ・ ・ 1010＝31歳：兄伊周も死去、

・ ・ ・ ・ ・ 1011＝32歳：一条天皇が死去し、三条天皇が即位。東宮は敦成親王となる。

和漢朗詠集・ 1012＝33歳：_三条天皇皇后(道長の娘中宮妍子のライバル)の宮大夫への叙任を受入れ、堂々と奉仕するが、

_暗闇で横木にぶつかり眼疾となり、悪化して出仕できずに蟄居するうち、たまたま宋の名医が九州に来航したことを聞き、治療を受けようと、

源氏物語・ ・ 1014＝35歳：*望んで大宰権帥に任じ、

・ ・ ・ ・ ・ 1015＝36歳：_正二位に叙されて、現地赴任すると、

_生来の剛直な風格によって大宰府官人・豪族を掌握、善政の聞えが高くなり、

刀伊来寇・ ・ 1019＝40歳：*刀伊(女真族)が来襲したのを、兵船30余艘を以て追撃し、的確な指揮によって退けたが、中央政府は形式論議に拘泥し遂にこれに報いるところがなく、辞任して帰京、

・ ・ ・ ・ ・ 1023＝44歳：*中納言も辞し、

・ ・ ・ ・ ・ 1024＝45歳：

藤原道長没・ 1027＝48歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1033＝54歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1039＝60歳：大宰権帥に再任したが、

・ ・ ・ ・ ・ 1041＝62歳：帰京し、

・ ・ ・ ・ ・ 1042＝63歳：

_零落した身を恥じることなく、最後まで出家という逃道を選ばずに堂々と生きて、

・ ・ ・ ・ ・ 1044＝65歳：_没した。